

やつしろ 市議会だより

平成 22 年 9 月定例会



▲熊本県市議会議員研修会（8月20日熊本市において開催）



9月定例会会期日程

月日	曜日	内容
8月31日	月	本会議（提案理由説明）
9月 6日	月	本会議（質疑・一般質問）
7日	火	〃
8日	水	〃
9日	木	〃
13日	金	委員会（文教福祉・経済企業委員会）
14日	月	委員会（建設環境・総務委員会）
17日	火	本会議（討論・採決）

《主 な 記 事》

- 9月定例会見出し . . . 2
- 一般質問 . . . 2
- 委員会報告 . . . 8
- 意見書 . . . 11
- 決算審査特別委員会設置 . . . 11
- 9月定例会審議結果一覧 . . . 12

一般会計補正予算 二億一千八百七十万円

◎生活保護版レセプト管理システム導入経費
(四百九十九万二千元)

◎くまもと稼げる園芸産地育成対策事業
(九百一十四万円)

◎九州新幹線全線開業元年事業
(三百八十四万七千元)

◎農業・林道・道路橋梁・河川施設災害
復旧事業 (一億二千二百八十五万八千元)
など

議案・陳情・発議案など三十三件を議決

九月定例会は、八月三十一日招集、開会され、水道・病院事業会計決算、補正予算、事件など議案十八件が上程され、市長の提案理由説明の後、九月六日から九日までの四日間、二十人が質疑・一般質問を行い、一般質問最終日には、市長より予算議案一件が、追加提案され、委員会審査に付しました。

最終日の十七日は、各委員長報告後、決算議案二件を認定、議案十七件、陳情三件を可決・採択、議員提出発議案四件を原案可決、また、同日市長から追加提案された平成二十一年度一般会計決算及び各特別会計決算十二件は、決算審査特別委員会を設置後、付託の上、継続審査としました。

また、人事案件七件を同意し、十八日間の会期を閉じました。付議事件、一般質問、審査の概要などは、次のとおりです。

一般質問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、九月六日から九日までの四日間、二十人が通告登壇し、幅広い、活発な論議が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。



教育

社会体育施設の充実について

堀口 晃

問 八代市総合体育館を含め、本市には四十五の社会体育施設があり、建設されてから二十五年以上経過している施設が幾つもある。老朽化や耐震問題など社会体育施設の整備や改修等、今後検討していかねければならない。将来に向けた社会体育施設のあり方や配置計画など本市の基本的考え方・方針を問う。

答 教育長 市の社会体育施設

利用状況は、全施設合わせて年間約四十九万人の利用があり、近年はスポーツ大会等の増加により施設が不足してきている。また、多くの施設で老朽化が進んでおり、毎年多額の修理費等が必要となってきた。今後、スポーツで創る元気やつしをを指し、スポーツ施設の整備を計画的に推進するために、施設の課題や問題点を整理し、利用状況を踏まえた上で競技団体や市民の意見を伺いながら教育委員会としての方針を固めていきたい。

特別支援教育と学校の現状

前川 祥子

問 障がいのある子供達が年々増加している学校現場において、特別支援教育支援員の待遇を見直し、本市のよりよい学校教育の確立を望む。しかし、現在、本市の教育費の割合が全国平均を下回る教育体制である。学校教育は、人材育成である。もっと教育に予算をつけるべきだと考えるが、市長の考えを問う。

答 市長 厳しい財政状況の中で、教育行政以外の部分でも喫緊の課題が山積している。しかし、教育環境を高めることは絶対必要である。

未来を託す子どもたちが、勉学に励み、心身ともに健全でたくましく、そして豊かな感性や社会性を身につけて成長してくれることを心から願っており、教育行政の果たす役割がいかに重要であるか十分認識し、対処していく。



経済

八代港の将来像について

野崎 伸也

問 八代港の喫緊の課題は、出入貨物取扱量の拡大である。荷主獲得には競合する近隣他港より有利で本市独自の助成制度や港湾内設備の充実等、ハード・ソフト面の整備が必要不可欠と考える。また、港の将来像を考えると、県・市さらには地元港湾業者との連携は必須と考えるが、現状と今後について問う。

答 商工観光部長 八代港は、原材料を中心に扱う九州中央部に位置した拠点港であり、

今後さらに拠点を高めるため、ハード面では物流コストの削減が見込める五・五万トン岸壁等の早期整備を推進し、ソフト面では官民一体となったポートセールスや本市独自の八代港利用助成制度等の検討を行う。

また、八代港の振興に港湾関係者との連携は不可欠であり、港湾管理者である県とはさらに連携を密にし、地元港湾業者との連携についても意見交換の場を通して深めてまいりたい。

八代港の今後の振興と課題

飛石 順子

問 全国重点投資対象四十三港のうちの一港に選ばれた本港は、九州の中央にあり、フェリー貨物を含めた貨物取扱量において県内最大で、九州各地に向けた物流人流の拠点として重要な港で、経済波及効果が期待される。今後の本港の課題と振興について市長に伺う。(ほかに生命を守る市民の健康づくりについて問う)

答 市長 八代港は、輸入・移入貨物の取り扱いが中心で、輸出貨物取扱量の増大が今後の課題である。特にコンテナ貨物は、鹿児島、宮崎の貨物はもとより県内取扱量の九割までもが博多港等から輸出されており、八代港は素通りしている。

したがって、八代港への集荷を図るため、物流の効率化に向けた五・五万トン岸壁の早期完成を目指すとともに、独自の助成金制度創設や中国を視野に入れた新たな航路開拓、さらに専任スタッフの設置等によるポートセールスの強化を検討する。

環境

一般廃棄物収集運搬業務委託

増田 一喜

問 旧市町村ごとのエリア分けは評価するが、エリア内の既存の受託事業者を殊さら擁護するような入札参加資格要件は、一般競争入札を推進している今の時代に逆行している。副市長は、二十一年度の受託業者決定時の入札参加資格要件を認定した担当部長であったが、今回の入札参加資格要件をどのように判断したか問う。

答 副市長 一般廃棄物収集運搬業務委託の業者を選定するためには、法令の委託基準に準じた資格要件は必要と考える。今回の長期継続契約を行う際に、入札資格要件について十分に説明をすべきであったと思うが、業者選定に二十一年度と同様の要件を適用したことについては妥当であったと認識している。しかし、五年後は合併後十年を経過することもあり、エリア内の要件を含め、どのような入札参加資格要件を設定するか、検討を重ねていく必要があると考える。

市環境センター（仮称）

田中 茂

問 四月十三日の新たな市環境センター（仮称）の候補地決定から五カ月近く経過した。喫緊の課題でもあることから、問題点を解決し、一刻も早く新施設建設に取り組む必要がある。

答 そこで、解決に必要な問題点とその解決日数、市長の決意も含めて伺う。（ほかに新開町交差点改良工事について問う）

直接持ち込み資源物の無料化

幸村 香代子

問 現在、市民が直接清掃センターに持ち込む資源物と可燃物について、十キログラム当たり百円の搬入手数料が徴収されている。この中の資源物については、市民がきちんと分別して持ち込んでいることと、燃やすごみの減量化の視点から、手数料は無料とすべきであると考え、執行部の見解を問う。

行政

八代東高テニスコート活用

小園 純一

問 現東高テニスコートについては、バス路線の再編に伴う市役所正面玄関のターミナル化、永年懸案の教育文化センター建設などを視野に入れた用地として必要性が高まっているが、県教育委員会などの折衝がどこまで進んでいるのか経緯を伺う。（ほかに新幹線全線開通への取り組み、防災体制について問う）

八代・天草架橋建設促進活動

前垣 信三

問 熊本市の政令市指定後の熊本県第一の都市として、八代を核とした広域圏への集約を図る必要がある。天草と八代を数分で結ぶ架橋の実現が地域振興の肝である。民間資金の活用等で八百億円で可能と試算済み。官民挙げて市民の意識調査なり署名活動の可能性を問う。（ほかにごみ減量化作戦について問う）

答 市長 六月に候補地周辺関係者の皆様に福岡市の先進施設を視察いただき、最近のごみ処理施設の安全性等を御確認いただいた。

土地取得に向けては、国・県との協議を進めている。その間、清掃センターのふぐあい等があり、市民の皆様にご迷惑をかけることとなり、早期の新施設建設の必要性を痛感した。建設に当たり国の交付金を受けるため事前に地域計画を提出する必要がある。九月に提出する決断をした。また、年内には、建設に向け専門の部署を設置したい。

答 市民環境部長 現在、可燃物ごみの削減が大きな課題とな

っていることから、収集ごみだけでなく、清掃センターに直接持ち込む場合でも、しっかりと分別して搬入をする対策が必要である。そのためには、家庭から直接持ち込む資源物の手数料の無料化は、有効な手段だと思ふ。導入に当たっては、八代市内の家庭からのごみであることの確認、分別の確認、場内で車両が混雑をしない受け付けや計量の方法など、研究を重ね、無料で受け入れられないか検討していきたい。

答 市長 市庁舎と隣接する県

有地である八代東高校テニスコートは、市にとって必要な土地であり、昨年十二月から県との協議を進めている。当初は永碇町の白百合高校テニスコートを代替地としていたが、県の方針変更により、代替地が松崎町の白百合高校グラウンドに変更になった。現在、不動産鑑定評価や調査測量など、今後の協議へ向けての作業を行っている。

今後、県や白百合学園高校との交渉を円滑に進め、十二月議会への上程を目指したい。

答 市長・企画振興部長 八代

・天草架橋は、天草地域の取り組みを理解した上で、県南浮揚に寄与する起爆剤でもあり推進したいと考えている。署名活動については、国・県に対する地域住民の意思表示のために必要なものであり、八代市だけでなく上天草市ほか県南地域が一体となっていく必要があると考えている。

また、民間期成会や県議会議員連盟、市議会議員連盟とも協議し、検討したいが、民間からの盛り上がりにも期待をしている。ぜひ、議員各位の御指導、御協力をお願いしたい。

市民救命士制度の導入

太田 広則

問 数回の救急救命の講習を修了した方を対象に、新たに市民救命士として、格付資格認定することにより、市民の意識が高まり、何よりも街角に市民救命士がふえることが、そのまま安心なまちづくりにつながると思います。その市民救命士制度の導入について市長の考えを問う。（ほかに豪雨災害について問う）

答 市長 市民救命士制度については、広域消防本部で実施している応急手当普及啓発活動のさらなる充実につながるのと同時に、救命に対する市民の意識向上を促す上で、大変有効な施策であると考えます。制度の導入に当たっては、市民救命士として認定する基準や講習内容などを他市の事例も参考にしながら、広域消防本部との調整を図った上で、実現に向けて検討したい。



消防装備の現状と今後の方針

橋本 幸一

問 非常備消防予算の交付金の状況と今後の予測。消防装備の車両、ポンプ、団服、長靴等の配備状況、今後の対応を問う。また、常備消防の救急車、高規格救急車の配備状況、救急救命士の配備状況と今後の計画を問う。（ほかに住民自治、日奈久ドリームランド「シー・湯・遊」の利用状況、公共施設のLED導入について問う）

答 企画振興部長・市長 消防団の現有資機材としては、ポンプ車七台、小型動力ポンプ付積載車百六台、動力ポンプ百四台を配備している。整備の財源には、石油貯蔵施設立地対策等交付金と電源立地地域対策交付金を活用しており、更新は二十年をめどに計画的に進めている。消防団員のズボンや長靴の支給については、分団からの要望をもとに検討する。高規格救急車の配備については、買いかえ時期での導入が進められており、救急救命士の養成については、計画的に取り組まれている。

市民税等の納期の細分化

大倉 裕一

問 市民の所得が低下し、市民の生活が非常に苦しい。行政は、市民が税を期限内に納付しやすい環境整備にも取り組むべきである。そこで、市民税、固定資産税の年四回の納付を毎月納めるように変更したほうが、負担感が軽減され、毎月の生活にゆとりが生まれると考えます。納期を細分化する考えを問う。

答 総務部長 個人市県民税や固定資産税の納期の回数をふやすことは、納税しやすい環境整備の一つとして検討すべき方策であると考えている。地方税法では市民税の普通徴収や固定資産税の納期は年四期と定められているが、特別の事情がある場合には異なる納期を定めることも可能となっている。細分化することによる経費の増加と収納率等の費用対効果を総合的に判断するべきものであり、慎重な検討が必要である。また、選択制については事務的に導入は困難である。

市長の政治倫理について

田方 芳信

問 市長の県議時代の政務調査費について新聞報道がなされたが、これに対し、市民から市長選に絡ませたのではとの問い合わせがあった。市長はこの件に関し、説明義務があると思う。そこで、この政務調査費使用についての説明、その政務調査費を返還するのか及び政治倫理について市長の考えを問う。

答 市長 一部新聞で掲載された県議時代の政務調査費の支出については、すべて市長選への立候補を決意するより以前に、県議としての活動に使用する目的で発注したものであり、駆け込み支出ではない。また、その支出については、全国都道府県議会のマニュアルに沿って、県議会事務局の指導のもと、作成・処理したものである。



北海市友好十五周年

田中 安

問 市長は北海市との友好都市提携について提案理由説明で「さらに継続して交流を深めていきたい」と述べておられるが、十五周年事業としてどのような計画を予定されておられるのか伺う。(ほかに八代港の振興、新幹線全線開業と新八代駅へのさくら停車、東南アジアを焦点とした物流振興について伺う)

答 市長 八月の北海市訪問の際に、連友農北海市長と十五年記念事業について情報交換を行った。

「市民事業仕分け」において、今後の交流は市民協働のもと経済交流を目指すべきとのアドバイスをいただいたことから、八代の経済界による経済ミツション団の派遣を打診したところ、大歓迎するとの返事をいただいた。

このほか、北海市が中国における花火の一大産地であることから、やつしる全国花火競技大会への花火師の招聘や獅子舞団の派遣なども考えている。

ウインズ八代開設に伴う諸策

西濱 和博

問 日奈久場外馬券販売所の開設については、防犯対策はもとより特に子供・青少年の健全育成の観点からも、町の安全・安心を損なうことにつながるのか危惧する声がある。これら課題に対し、行政としてどのような認識を持っていいのか伺う。(ほかに市民の声を大切にする市政運営について伺う)

答 市長 子供・青少年の健全育成は、社会全体として取り組むべきことである。

ウインズの誘致は、ウインズの集客力を活用し、日奈久のにぎわいを取り戻したい反面、子供・青少年の健全育成の観点から危惧する声があったことは承知している。

今後は地域・学校・PTA等による「日奈久まちづくり協議会」にJRAにも加入していただき、市も必要に応じて「協議の場」に参加し、子供の見守りを含めたまちづくりを進めたい。

建設

県道中津道八代線の進捗

亀田 英雄

問 坂本町で開催した議員有志による議会報告会の中で、合併時の約束である県道中津道八代線の進捗について質問があり、「建設に向けた働きかけを願いたい」と強い要望があった。

前回の一般質問で「事業化に向けた調査測量であると認識している」との市の見解であったが、その後の情報、進捗について伺う。

答 建設部長 県道中津道八代線については地形測量と予備設計を終え、より実現性の高い案として河川側への張り出しや路肩補強での拡幅、深水側既存踏切の拡幅を行い、現道につながる幅員三メートルから五メートルの案もまとまったところである。現在、県では、補助事業採択の可能性や財源確保、優先度などの検討段階に入った状況と聞き及んでいる。

市としては、重要な事業として認識しており、今後も県に対し早急に整備着工するよう積極的に要望していく考えである。

大鞘川改修の状況について

友枝 和明

問 平成十二年度から湛水防除事業と排水対策特別事業が着手され、整備が実施されている。毎年水害が発生し早期完成を願っているが、市の今後の対応を伺う。(ほかに八代港重点港湾選定、みなと八代フェスティバルについて伺う)

答 建設部長 大鞘川河川改修事業の全体事業費は七十二億円で、平成二十一年度末での事業進捗率は四十六%である。

現在高さ三メートルのうち一メートルでの暫定築堤整備と橋梁のかけかえを進めているものの、農業事業に比べ進捗が遅く、排水機場のポンプのフル稼働ができない等の課題がある。

市としては、事業の一刻でも早い完成を目指し、国や県に事業促進の要望活動を行っており、今後も引き続き活動を行っていく考えである。



福祉

高齢者対策について

庄野 末藏

問 高齢者を取り巻く状況が今後変化する中、介護支援専門員（ケアマネジャー）の中立・公平性確保のため、シルバー人材センターの会員として働くことの可能性、介護報酬の今後の見込みと低所得への対応、高齢者施設で提供される食事における地元食材の割合及び一日当たりの食費について問う。

答 健康福祉部長 介護支援専門員がシルバー人材センターの入会要件を満たしても居宅介護支援事業所の指定基準等によりシルバーの会員として働くことは難しい。介護報酬は国の社会保障審議会の意見を聞いて改定され、また、低所得者は負担能力に応じて軽減されサービスが利用できる。高齢者施設で提供される地元食材の割合は調査した施設で約一割から八割であり、また、一日当たりの食費は介護保険で月額千三百八十円と定められており、各施設もそれを勘案し金額を設定している。

高齢者所在不明問題について

笹本 サエ子

問 所在を確認できない高齢者の問題が衝撃を与えている。高齢者の多くは、貧弱な社会保障と国民生活全体を襲っている貧困と格差の拡大が、深刻な影を落としている。老人福祉法は「老人の福祉に関し、必要な実情の把握に努める」と自治体の実態把握の責任を明記している。本市の認識と現状を問う。

答 健康福祉部長 この問題の主な原因は、家族や地域のつながりの希薄化、経済格差の拡大が考えられる。本市では、住民基本台帳に登録されている百歳以上の方（本年度百歳到達予定者を含む）九十二人について、面会、介護サービスの利用実績などにより、すべての所在を確認した。

また、生活状況調査により、百歳未満の高齢者についても所在の確認に努めている。日ごろから民生委員等の活動において、ひとり暮らし高齢者等の定期的な見守り、訪問を心がけていただいている。

給食費・保育料の未納対策

古嶋 津義

問 さきの六月定例会において、「子ども手当」支給に伴う滞納対策への活用を提案した。既に本県でも、人吉市など六市で取り組まれ、収納実績を上げていると聞いている。そこで、本市の「子ども手当」支給に伴う未納対策への活用及び取り組み状況について問う。（ほかに住民自治について問う）

答 健康福祉部長・教育次長

本市では、子ども手当を口座振込で支給後に、電話や家庭訪問で未納保育料の納付相談を行ったが、納付額の増額にはつながらなかった。そこで、先進市の状況を参考に、子ども手当の窓口払い等を検討していきたい。給食費の口座引き落としをしている学校では、子ども手当受給口座と同じ口座にしてもらう取り組みを始めたところがあり、有効な手段と考える。この取り組みを推し進めるとともに、子ども手当の支給前に重点的に督促を行い、未納解消に努めたい。

審議状況

速報

本特別委員会は、6月定例会初日に設置されて以来、毎月2回程度開催されており、9月下旬までの間、7回開催しました。協議内容としては、「予算審査のあり方」、「費用弁償」、「議員定数」について行うと決定され、現在「予算審査のあり方」について協議が行われています。また、「政務調査費の使途」についてや「議会だよりのあり方」については、議会運営委員会及び広報編集委員会で協議することになりました。

※会議の様子は、来庁やインターネットにより傍聴ができますので、お気軽にお問い合わせください。

議会改革特別委員会

委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、総務委員会、建設環境委員会、文教福祉委員会、経済企業委員会の四つの常任委員会に付託され審議がなされています。(特定の問題については、必要に応じて市議会の議決によって設置された特別委員会において審査・調査されます。)

これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、九月十七日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

文教福祉委員会

◆平成二十二年度八代市一般会計補正予算・第三号・民生・児童委員活動P R活動補助金

説明 本補助金は、平成二十二年度熊本県民生委員・児童委員活動助成費補助金交付要領が本年六月に制定され、前年度までの補助対象経費に加え、地区ごとの民生委員・児童委員協議会を対象として、民生委員、児童委員の活動についてP Rを行う

活動に対し、定額による補助が新設されたものである。

補助対象となる活動項目は、一、活動内容を周知する取り組み、二、民生委員・児童委員に対する親近感や好感度を高める取り組み、三、地域住民と協働で実施する取り組みの三項目であり、補助金額は、実施する項目数に応じて決まっており、三つ全て実施が十万円、二つ実施が五万円、一つ実施が一万五千元となっている。本市では、十九地区のうち、今回は七地区の協議会が補助対象と決定された。

問 今回、七地区が補助対象に決定された経緯について問う。

答 地区の決定については、市内全十九地区に対し、事業内容、補助内容についての説明を行った。その際、極力申し込み願いたい旨、説明したところであったが、各校区の事情もあり、結果、この七地区からやりたいということ申請があった。事業計画書を県に提出したところ、八月にその決定通知が届いたものである。

問 補助対象となる項目の具体的な活動内容について問う。

答 幾つか紹介すると、まず、第一項目の活動内容を周知する取り組みにおいては、民生委員・児童委員協議会リーフレットを作成し、校区祭りなどのイベントの際に配布する。第二項目の民生委員・児童委員に対する親近感や好感度を高める取り組みにおいては、校区民体育祭でのパレード実施やP Rティッシュの配布、また、ふれあい祭りや小中学校の行事などに積極的に参加をする。第三項目の地域住民と協働で実施する取り組みにおいては、夏休みのラジ体操に参加し、地域の子供たちと

身近になって、つながりを強め、交流できる状況をつくる。また、いきいきサロン事業に協力し、高齢者とふれあいながら生活状況の把握を行うなどとなっております。各地区の特色を生かしたものととなっている。

問 今回申請された、このような活動内容の各地区におけるこれまでの状況について問う。

答 このような活動については、日ごろから実施しておられる地区もあると思う。今回、補助申請をされた地区については、これまでの活動を、さらに活発に行いたい、また、申請をされていない地区については、補助を利用しなくても活動できると判断されたのではなからうかと思っている。



経済企業委員会

◆平成二十二年度八代市一般会計補正予算・第三号・遊休農地解消イエロープロジェクト事業

説明 本事業は、遊休農地の解消と九州新幹線の全線開業に合わせ、新幹線沿線を中心に美しい農村景観の形成を目的とした県の単独補助事業で、菜の花、レンゲ等の景観作物を作付する経費に対し、十アール当たり一万円を補助するもので、新幹線沿線、新八代駅周辺、国道・県道沿線等が対象地域となっており、今回本市では八十八・四ヘクタールを予定している。

問 本事業の農業振興における具体的効果について問う。

答 今回の事業は、平成二十二年度から二十三年度までの二カ年で実施するもので、景観作物を作付することにより、遊休農地、耕作放棄地、不作付農地の解消を図るものである。水稻等の作付前に菜の花やレンゲを植えつけると土壌改良や除草効果があるとされている。また、それと合わせて、九州新幹線全線開業に伴うおもてなしとして新

幹線沿線を中心に美しい農村景観を形成するというのも目的としている。

問 新幹線全線開業に伴い景観を美しくするというのもあつて今回対象地域も限定して耕作放棄地の解消を図るということであるが、この事業終了後の取り組みについて問う。

答 近年、特に冬場の遊休農地耕作放棄地が非常に増加していることから、本事業のほかにも国・県の事業を活用しながら解消に向けて取り組んでいるところである。

今後は農業委員会やJA等と協力・連携し、農地の貸借を希望する人々をあつせんするなど、解消に努めていきたい。

意見 本事業は二カ年で終了するが、将来的な長いスパンで物事を考えるときにも、一面に作付される菜の花、レンゲ等が観光資源となることも十分考慮して、他の分野においても取り組んでいただきたい。



建設環境委員会

◆平成二十二年度八代市一般会計補正予算・第四号・ごみ処理施設整備事業

説明 集塵機バグフィルター交換及びバグフィルター予備購入等については、八月二十九日に起こった二号焼却炉集塵機バグフィルターろ布の一部焼損事故に伴うもので、具体的内容としては、今回の一部焼損事故に伴うバグフィルターろ布の交換六十本分とその取りかえ費用、及び不測の事態に対応できるように確保する予備のろ布二百五十二本分とその取りかえ費用、また、集塵機内の監視機能の強化を図るためのレベルセンサー増設や集塵機近くに設置している温度計等の監視パネルを中央制御室に設置する費用である。

通常、ろ布の緊急調達は困難であるが、幸い製造メーカーが六十本の在庫を保有していたので、八月二十九日の事故後、応急復旧で対応していたが、九月十一日から十二日にかけて緊急施工を行い、九月十二日に本格復旧をしたところである。

問 本市としては高額の委託料を支払って施設管理をお願いしているところであるが、機器内の温度に異常があつても十分な対応がとられなかった。今回の事故に係る費用は、受託業者に補償を求める考えはないのか問う。

答 今回の焼損事故については、詳しい原因を現在調査中であり、その結果を見て判断したい。

問 平成十九・二十年度にも同様の事故があつているが、その後再発防止策はとられたのか、受託業者の温度異常に関する認識について問う。

答 対策としてバグフィルターから大気に出るときの圧力の差をはかる差圧計の移設は行つたが、当時、温度については認識が薄く、温度計は、バグフィルターの近くのパネルに設置したまま、中央制御室に移設を行わなかった。また、受託業者の温度異常に関する認識についても、事故へつながるといふ認識はなかったのではないかと感じている。

問 今回、中央制御室に温度計等の監視パネルを追加設置されるが、そのチェック体制について問う。

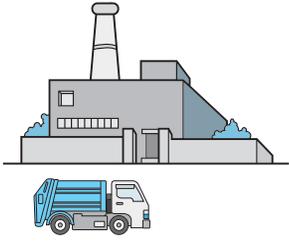
総務委員会

答 バグフィルター横には他の測定器もあることから、現在の設置場所を確認する者と中央制御室の監視パネルで確認する者の二重でチェックを行うことになる。

意見 今回の事故に伴う修繕費用については、受託業者に全額負担を求めていただきたい。

また、その修繕費用の支払いについては明文化しておくべきである。

意見 今回の事故の原因究明を行うということであるが、この間もずっと現在の受託業者が行う管理業務に不信感があり、本来にこのままでいいのかという話もある。これから、原因究明、管理上の責任の所在について話し合いをするときには密室で行ったり、当該者だけで行うのではなく、きちんと周りに説明ができる第三者に入ってもらい、結論を出していただきたい。



◆八代市過疎地域自立促進計画の策定について

説明 本計画は、過疎地域自立促進特別措置法において、本年三月末までとされていた失効期限を六年間延長するとして、本年四月に法改正がなされたことに伴い、同法第六条第一項の規定により、議会の議決を経る必要があることから提案するものである。

過疎地域として、旧坂本村、旧東陽村、旧泉村が指定を受けていたため、市町村合併後五年間は各種要件により新市全域がみなし過疎地域として指定を受けていたが、合併後五年を経過したことにより、本年度以降は、坂本・東陽・泉地域が一部過疎地域として公示されている。今回の法改正により、過疎債をハード事業だけでなく、ソフト事業にも充当することができるようになり、またソフト事業のための過疎債を活用した基金を創設できるようになった。

また、今回の計画策定に当たっては、過疎債や国の補助制度を活用して事業を実施する場合、市町村計画にその事業が搭載さ

れていることが必要とされていることから、個別事業に関しては、本市総合計画を基本として、坂本・東陽・泉の三地域の振興に資する事業について、今後想定されるものをできるだけ幅広く搭載しており、総事業数が二百六事業、事業費総額が約九十五億円、過疎債活用予定額は約三十八億円と見込んでいる。実際の事業については、総合計画を基本とし、事業の緊急性や財政状況を勘案しながら実施していく予定であり、今回の計画に搭載してない事業についても、計画に追加修正を行うことにより過疎債の対象とすることができるとしている。

問 今回提案されている計画における過疎債を活用した基金の創設について問う。

答 ソフト事業などに充当するために過疎債を原資として基金を創設することもできるが、本計画において、現時点では基金の創設は考えていない。今回は、適債性のある事業に過疎債を活用するため、各支所と協議した上で、事業メニューを搭載している。

問 創設可能となった基金の使用について問う。

答 人件費、扶助費及び公債費の三つの義務的経費に充当してはならないとされており、それ以外については各自自治体の判断に委ねられている。市全体の公債費比率などを考慮して、財政的な弾力性を維持したいということから本計画では基金創設については計画していない。

問 基金創設のため過疎債を活用する場合、元利償還金の七割は地方交付税に算入されるのではないかと記憶しているが、それについて問う。

答 元利償還金の七割は普通交付税の※基準財政需要額に算入されることになり、普通交付税が増額されるので、基金を創設してもいいのではとの考え方もあるが、最終的には市全体の起債残高に影響することであり、建設事業においても事業費の現年度元金償還額を超えない範囲で計画的に起債していることから、今回、基金の積み立てについては計画に搭載していない。

※基準財政需要額：普通交付税の算定に用いるもので、合理的かつ妥当な水準で行政を運営した場合にかかる経費を一定の方法で算定した額。

意見書

九月定例会において意見書案四件が提出され、原案のとおり可決し、国会及び関係行政庁へ送付しました。

◆ 学校施設の耐震化予算の確保を求める意見書

◆ 九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴う新幹線「さくら」「つばめ」の新八代駅停車に関する決議

◆ 選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正に反対する意見書

◆ 「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制度を求める意見書



決算審査特別委員会設置

平成二十一年度一般会計及び特別会計決算が九月定例会最終日の九月十七日に上程されました。同日、委員十一人で構成する決算審査特別委員会を設置し、正・副委員長の互選を行い、調査は閉会中の継続審査に付しました。なお、委員会の構成は、次のとおりです。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 橋本 幸一 |
| 副委員長 | 松永 純一 |
| 委員 | 植原 勉 |
| | 大倉 裕一 |
| | 鈴木田 幸一 |
| | 友枝 和明 |
| | 中村 和美 |
| | 藤井 次男 |
| | 堀口 晃 |
| | 前川 祥子 |
| | 幸村 香代子 |

広報編集委員会から

お知らせ

今年度より、これまでの五名の広報編集委員に新たに二人の委員が加わり、さらに読みやすい紙面づくりと情報発信に努めます。

【新委員の紹介】

増田 一喜
松永 純一

9月定例会審議結果一覧

※請願・陳情で継続審査となったものを除く

提案者	議案番号	件名	議決日	審議結果
市長	議案第59号	平成21年度八代市水道事業会計決算	9.17	認定
〃	議案第60号	平成21年度八代市病院事業会計決算	9.17	認定
〃	議案第61号	平成22年度八代市一般会計補正予算・第3号	9.17	原案可決
〃	議案第62号	平成22年度八代市病院事業会計補正予算・第1号	9.17	原案可決
〃	議案第63号	専決処分の報告及びその承認について（平成22年度八代市一般会計補正予算・第2号）	9.17	承認
〃	議案第64号	専決処分の報告及びその承認について（平成22年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第1号）	9.17	承認
〃	議案第65号	八代市過疎地域自立促進計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第66号	深水辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第67号	辻辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第68号	木々子辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第69号	責・川原谷辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第70号	小川内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第71号	南川内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第72号	仁田尾辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第73号	椎原辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第74号	樅木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決
〃	議案第75号	釈迦院辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	9.17	可決

9月定例会審議結果一覧

※請願・陳情で継続審査となったものを除く

提案者	議案番号	件名	議決日	審議結果
市長	議案第76号	公有水面埋立免許に対する意見を述べることについて	9.17	可決
〃	議案第77号	平成22年度八代市一般会計補正予算・第4号	9.17	原案可決
〃	議案第78号	平成21年度八代市一般会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第79号	平成21年度八代市国民健康保険特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第80号	平成21年度八代市老人保健医療特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第81号	平成21年度八代市後期高齢者医療特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第82号	平成21年度八代市介護保険特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第83号	平成21年度八代市公共下水道事業特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第84号	平成21年度八代市簡易水道事業特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第85号	平成21年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第86号	平成21年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第87号	平成21年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第88号	平成21年度八代市診療所特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第89号	平成21年度八代市久連子財産区特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第90号	平成21年度八代市椎原財産区特別会計決算	9.17	継続審査
〃	議案第91号	人権擁護委員候補者の推薦について（菊川保之氏）	9.17	同意
〃	議案第92号	人権擁護委員候補者の推薦について（佐藤タエ氏）	9.17	同意
〃	議案第93号	人権擁護委員候補者の推薦について（長廣嘉代子氏）	9.17	同意
〃	議案第94号	人権擁護委員候補者の推薦について（太江田久子氏）	9.17	同意
〃	議案第95号	人権擁護委員候補者の推薦について（水野潤一郎氏）	9.17	同意
〃	議案第96号	人権擁護委員候補者の推薦について（寺田公子氏）	9.17	同意
〃	議案第97号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（澤村勝士氏）	9.17	同意
陳情	第2号	選択的夫婦別姓制度法制化に反対する意見書の提出方について	9.17	採択
〃	第4号	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書の提出方について	9.17	採択
〃	第7号	選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正に反対する意見書の提出方について	9.17	採択
議員	発議案第6号	学校施設の耐震化予算の確保を求める意見書案	9.17	原案可決
〃	発議案第7号	九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴う新幹線「さくら」「つばめ」の新八代駅停車に関する決議案	9.17	原案可決
〃	発議案第8号	選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正に反対する意見書案	9.17	原案可決
〃	発議案第9号	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書案	9.17	原案可決

第21号

平成22年11月1日発行

編集・文責
八代市議会
広報編集委員会

☎ 0965-32-5984
(市議会事務局)

編集後記

天高く馬肥ゆる秋、食欲の秋、そして読書の秋となりました。皆様におかれましては、御健勝にてお過ごしのことと御推察いたします。

今回の九月定例会市議会において、四日間にわたり二十名の議員により活発な質問が行われました。質問内容について限られた紙面なので、読者の皆さんにわかりやすくを基本として要約しております。

また、「市議会だより」のほかに、インターネットを利用して本市のホームページで議会活動状況を発信しております。議会開催中は実況中継も行ってまいりますので、ごらんいただければ幸いです。

あわせて、議会を傍聴されますと、より一層議会活動が実感できます。

開かれた議会を目指して努力いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

八代市議会広報編集委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで ☎ TEL32-5984